

まんがを通してPR ～韓国における鳥取県PRとその反応～

ソウル事務所

鳥取県は、「名探偵コナン」の青山剛昌氏、「ゲゲゲの鬼太郎」の水木しげる氏、「遥かな町へ」の谷口ジロー氏等、幾多の著名漫画家を輩出していることから、まんがをテーマとした観光地づくり、観光客促進に取り組んでおり、来たる2012年8月4日(土)～11月25日(日)に「国際まんが博」、2012年11月7日(水)～10日(土)に「第13回国際マンガサミット」が開催されます。

そこで、鳥取県は、国際マンガサミットが開催される2012年を、「まんが王国とっとり建国元年」とし、国内外で様々なイベントを実施しています。

クレアソウル事務所が行ったソウル市内での鳥取県PR支援の他、鳥取県の取り組みを紹介します。

1. 日本食居酒屋「とんあり」における鳥取の魅力発信

ソウルには、日本でもお馴染みの居酒屋、カレーショップ、回転寿司等のチェーン店の他、個人が経営している居酒屋等において日本食が溢れています。クレアソウル事務所では、ソウル中心部の市庁前広場に位置している日本食居酒屋「とんあり(韓国語で仲間、サークルという意味)」と連携して毎月月替わりで日本の自治体のPR支援を行っています。

平成24年5月は、1ヶ月間鳥取のPRを行いました。

(1) PR内容

このイベントの周知や、鳥取の観光地及び「食」をPRするため、ポスター掲示やDVD上映、パンフレット展示、韓国語版漫画(名探偵コナン、ゲゲゲの鬼太郎)の自由閲覧、イベントグッズ配布等を行いました。

また、鳥取のB級グルメである「ホルモン焼きそば」を店のメニューに追加いただき、見るだけでなく、鳥取の「食」を実際に体感できるよう工夫しました。

さらには、鳥取県やクレアの職員が週1～2回程度、昼又は夜に、店内でプロモーションを行い、鳥取の魅力を直接お伝えしました。



店内の様子



店内でのプロモーションの様子

(2) 反応、成果

大多数のお客は食事中にも関わらず、しっかりこちらの話しに耳を傾けてくださいました。多かった質問は、鳥取県の場所やアクセス方法等でした。

また、米子仁川往復航空券3万ウォン(約2,100円)キャンペーンのPRも行ったところ、みなさん大変興味を示され、「早速申し込みたい」といった嬉しい声も多く聞こえました。韓国在住日本人も「1度韓国から鳥取へ行ってみたい」といった声まで聞こえました。

「青山剛昌ふるさと館」を紹介するポスターを見たり、イベントでコナンのグッズを配布した際は、「コナンだ!」と喜ぶ笑顔で店内が溢れていました。

5月限定で提供された「ホルモン焼きそば」は、大変好評であったようで、期間が終了した後も「とっとりホルモン焼きそば」と鳥取を銘打って、店のメニューに追加されることになりました。



「ホルモン焼きそば」



鳥取の観光パンフレットを見る飲食客

2 イベント出展に際してのPR

(1) 観光展の鳥取県ブースを活用したPR

「まんが王国とっとり建国元年」の2012年において、韓国の様々なイベントにブースを出展し、「まんが王国とっとり」のPR活動が行われました。



ジャパンフェスティバル(ソウル市)
3月21日鳥取県知事プロモーション活動



ハナツアー旅行博覧会(京畿道)
5月18日~20日(来場者7万人)

来場者が鳥取ブースにあるコナンを見つけると、「コナンだ！」と叫び、学生や親子連れの方は、ブース前に立ち止まっていただけ。「어떻게！（オットケー）どうしよう」と感激のあまり座り込む女子高生や、「このパンフレットただでもらっても良いのですか？」と確認する方までいらっしゃるほど人気があります。

しかし、韓国では、「ゲゲゲの鬼太郎」や谷ロジロー氏の作品は、「名探偵コナン」より知られていないのが実情です。

《参考》韓国におけるコナン

「名探偵コナン」が韓国で有名な理由の一つとして、いつでも触れることができる身近な漫画であるということが挙げられます。

ケーブルテレビに加入している世帯は、アニメのコナンをいつでも視聴することができます。

また、漫画は、書店で普通に購入できます。日本語版をそのまま韓国語に訳したハングル版は、1冊4,500ウォンで、日本円で約320円です。

ちなみに、通常の日本語版も、日本語書籍コーナーにて日本価格の約100円増して販売してあります。名探偵コナンを連載している週刊少年サンデーも、日本では月曜日発売ですが、韓国では水曜日の夕方頃には店頭で見ることができます。

【名探偵コナン単行本】



(左がハングル版、右が日本語版)

※ハングル版の方が少しサイズが大きい

(2) その他のイベントでのPR

その他、クリアソウルが参加する様々なイベント等においても、クリア職員による自治体等のPRを行っています。

クリアソウルは、アジアで初めて韓国の昌原市で開催されたIAEC（国際教育都市連合）世界総会において、主催者からの依頼を受けて観光PRブースを出展しました。(2012年4月26日～28日)

首都ソウルから離れた地方にある100万人都市昌原（チャウォン）市でもコナン人気は健在でした。



観光PRブースの様子

また、2012 年 6 月 30 日には、韓国の古都である慶州（キョソウ）市で開催されたアジア国際観光フォーラムで、主催者である大学からの「鳥取県の観光政策の紹介」の依頼を受けて、クリアソウル事務所の安本所長が鳥取県の観光の現状について発表しました。

「鳥取マンガサミット開催」や、「2泊3日で体脂肪3%減のスリミングスティプログラム」「1回もこがずに 25km のダウンヒルサイクリング」といった鳥取に関する紹介に、会場からはどよめきが起こっていました。



鳥取県を紹介する安本所長

3 おわりに

何より嬉しいのが、「鳥取県だ！」と嬉しそうにブースに近づいて来てくれる人が沢山いらっしゃる事です。コナン等を通じて、より一人でも多くの方に鳥取を知っていただき、お越しいただきたいと思います。今後も、韓国において鳥取県の知名度向上や誘客促進に努めて参ります。

同様に、全国自治体の韓国からの観光客誘致のための取り組みに対する支援に少しでも貢献できたらと考えております。

(上田元所長補佐 鳥取県派遣)